

(資料15) 外部研究評価結果総括表

1. 重点研究プログラム、基盤的な調査・研究活動、知的研究基盤の整備事業

(1) 5段階評価

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
地球温暖化研究プログラム	6	10	0	0	0	16	4.4
循環型社会研究プログラム	6	11	0	0	0	17	4.4
環境リスク研究プログラム	10	6	1	0	0	17	4.5
アジア自然共生研究プログラム	8	6	2	0	0	16	4.4
地球環境研究	2	13	1	0	0	16	4.1
資源循環・廃棄物管理研究	7	10	0	0	0	17	4.4
社会環境システム研究	2	13	0	0	0	15	4.1
化学環境研究	9	9	0	0	0	18	4.5
環境健康研究	7	11	0	0	0	18	4.4
大気圏環境研究	7	7	0	0	0	14	4.5
水圏環境研究	2	12	0	0	0	14	4.1
生物圏環境研究	1	17	0	0	0	18	4.1
スペシメンバンキング、レファレンスラボ、細胞・遺伝子保存	9	8	0	0	0	17	4.5
地球環境モニタリング等	11	3	0	0	0	14	4.8

(2) 評価の方法

外部研究評価委員全員により、終了時の評価\*を行った。評価に当たっては、評価軸として、①達成度（重点研究プログラム、知的研究基盤の整備事業）、的確さ（基盤的な調査・研究活動）及び②質の高さ（重点研究プログラム、基盤的な調査・研究活動）、貢献度（知的研究基盤の整備事業）について検討を行い、その結果を踏まえて総合評価を行った。

\*「国の研究開発評価に関する大綱的指針（平成20年10月31日内閣総理大臣決定）」による（国立環境研究所研究評価実施要領における年度評価（重点研究プログラム、基盤的な調査・研究活動、知的研究基盤の整備事業）及び暫定評価（重点研究プログラム）にあたる）。

(3) 評価基準

評価は5段階で行い、それぞれの評価基準は次のとおりである。

5：大変優れている、4：優れている、3：普通、2：やや劣る、1：劣る

2. 特別研究

(1) 5段階評価

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
貧酸素水塊の形成機構と生物への影響評価に関する研究	0	4	2	0	0	6	3.7

(2) 評価の方法

研究内容に関して専門的知見を有する外部研究評価委員会の専門分科会委員により、事後評価を行った。評価に当たっては、評価軸として、①研究目的・目標の達成度、②社会・行政、科学技術・学術に対する貢献度（環境問題の解明・解決を含む）について検討を行い、その結果を踏まえて総合評価を行った。

(3) 評価基準

評価は5段階で行い、それぞれの評価基準は次のとおりである。

5：大変優れている、4：優れている、3：普通、2：やや劣る、1：劣る

### 3. 中核研究プロジェクト

#### (1) 5段階評価

##### 地球温暖化プログラム

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
温室効果ガスの長期的濃度変動メカニズムとその地域特性の解明	1	5	0	0	0	6	4.2
衛星利用による二酸化炭素等の観測と全球炭素収支分布の推定	0	6	0	0	0	6	4.0
気候・影響・土地利用モデルの統合による地球温暖化リスクの評価	3	3	0	0	0	6	4.5
脱温暖化社会の実現に向けたビジョンの構築と対策の統合評価	1	4	0	0	0	5	4.2

##### 循環型社会プログラム

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
近未来の資源循環システムと政策・マネジメント手法の設計・評価	1	6	0	0	0	7	4.1
資源性・有害性をもつ物質の循環管理方策の立案と評価	2	4	1	0	0	7	4.1
廃棄物系バイオマスのWin-Win型資源循環技術の開発	2	4	1	0	0	7	4.1
国際資源循環を支える適正管理ネットワークと技術システムの構築	2	5	1	0	0	8	4.1

### 環境リスク研究プログラム

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
化学物質曝露に関する複合的 要因の総合解析による曝露評 価	1	7	0	0	0	8	4.1
感受性要因に着目した化学物 質の健康影響評価	0	8	0	0	0	8	4.0
ナノ粒子の体内動態と健康影 響評価	4	4	0	0	0	8	4.5
生物多様性と生態系機能の視 点に基づく環境影響評価手法 の開発	6	2	0	0	0	8	4.8

### アジア自然共生研究プログラム

	5	4	3	2	1	評価 人数	平均点
アジアの大気環境評価手法の 開発	5	1	0	0	0	6	4.8
東アジアの水・物質循環評価 システムの開発	4	2	0	0	0	6	4.7
流域生態系における環境影響 評価手法の開発	1	5	1	0	0	7	4.0

#### (2) 評価の方法

研究内容に関して専門的知見を有する外部研究評価委員会の専門分科会委員により、終了時の評価\*を行った。評価に当たっては、評価軸として、①研究目的・目標の達成度、②社会・行政、科学技術・学術に対する貢献度（環境問題の解明・解決を含む）について検討を行い、その結果を踏まえて総合評価を行った。

\*「国の研究開発評価に関する大綱的指針（平成20年10月31日内閣総理大臣決定）」による（国立環境研究所研究評価実施要領における暫定評価にあたる）。

#### (3) 評価基準

評価は5段階で行い、それぞれの評価基準は次のとおりである。

5：大変優れている、4：優れている、3：普通、2：やや劣る、1：劣る